

子供の不安をやわらげるためにできること

子供が汚い言葉を使う・・・

習志野市総合教育センター

子供の様々な変化に不安を抱える保護者の皆様へ・・・

最近、子供たちの間で「うっせーわ」という曲が流行っているそうです。それに伴い、家庭での子供の言葉遣いや汚い言葉が気になる、という保護者の方もいるようです。

そこで、今回は子供が汚い言葉を使うことについて、取り上げてみました。

☆子供は、その言葉の意味を知らないのかもしれませんが

・子供は、友達やメディアを通して様々な言葉に触れ、その言葉を面白がって使います。しかし、言葉の意味まで知らない場合が多いです。

子供が気になる言葉を発した時は「その言葉の意味知ってる？」と聞き、その言葉の意味を丁寧に教えてあげてください。「うっせーわ」であれば、子供は「うるさいって意味でしょ。」と答えるかもしれません。そんな時は「そうだね。うるさいという意味の言葉にもいろいろあるね。『うっせーわ』はその中でも乱暴な言い方かな。」等、細かく説明できると良いです。

☆自分が使っている言葉を振り返る

・保護者が子供に汚い言葉を使うと、子供もそのような言葉を自然に使うようになります。大人が汚い言葉を発しているのを聞けば子供はその影響を受けます。

自分の使っている言葉を振り返ることも大切です。

☆子供がなぜそのような言葉を使うのかを考える

【汚い言葉で自分の立場を優位にしたいのかもしれませんが】

・汚い言葉への感情的な反応は、子供に『汚い言葉を使えば相手より立場が上になる』という事を学習させます。汚い言葉を使っても得にならないことを子供に気付かせることが大切です。

汚い言葉は無視し、普通の言葉には丁寧に反応を返す、そして「汚い言葉って人に通じないよね。」と言うなど、工夫すると良いです。

【汚い言葉は子供からのサインかもしれません】

・イライラしている時、鬱屈した気分の時など、人は汚い言葉を発する場合があります。

汚い言葉を発した子供にいつもと違う雰囲気を感じたら、子供の話を聞いてあげてください。友達関係や勉強、運動などでつまづいているのかもしれません。

また、一生懸命頑張っている子供が『たまには甘えさせてよ』とサインを出しているのかもしれません。



お子様の心の変化や登校渋り等でお困りの時は、総合教育センター教育相談を御利用ください。

総合教育センター 教育相談(047-475-8341) 青少年テレホン相談(047-475-7867)